

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との繋がりを密に行いたい	利用者が近隣の店舗に出向き、地域交流ができるようになる	①職員にG-BAR-BAGの作り方をレクチャーする ②週1回、G-BAR-BAGを作成する日を設ける ③出来上がったG-BAR-BAGを近隣の店舗に利用者と共に配る	3 ヶ月
2	49	日常の中に、ホーム周辺の散歩を気軽に行えるように機械を増やしたい	天候や利用者の要望に合わせて日常的に外出支援が出来るようになる	①散歩が出来るように取り決めやルールを作る ②散歩を行う	6 ヶ月
3	11	職員間の情報共有を徹底し、チームワーク力を高めていきたい	申し送り漏れが無くなり職員間の情報共有が出来るようになる	QC活動のテーマとして、情報共有の推進を掲げ改善活動に取り組む。	12 ヶ月
4	11	職員の危険意識を向上させヒヤリハットの件数を増やしたい	ヒヤリハットの件数を施設全体で月に20件提出する	QC活動の取組みとしてヒヤリハットの軽減している原因を分析し結果に対して対策を講じる(研修会など行う)	12 ヶ月
5	26	家族を巻き込んだケアプランの実践を行いたい (前回より継続)	家族のケアプランへの積極的な参加が出来るようになる	ケアプランに基づいた日常生活の様子を写真に撮り、ケアプラン説明時に使用する。又、説明時には利用者本人と家族と一緒に説明を行い、より一層のニーズの把握に努める。	12 ヶ月